

平成27年度『おこしやす 二条のお城総会』を終えて

京滋支部長 佐藤 武人 (電42)

平成27年6月27日(土)、「ANAクラウンプラザホテル京都」において、平成27年度『おこしやす 二条のお城総会』を開催致しました。会員数が比較的少ない京滋支部であり、如何にして全国から多くの同窓の皆様をお迎えするかを主課題にして、2年前より実行委員会を組織し活動して参りました。京都は古の都であり、伝統・文化・歴史遺産があらゆる所に残っており、受け継がれております。そこで『たっぷり京都』のキャッチフレーズを掲げ、催し物と観光により歴史の重みや深み・文化の香を心ゆくまでご堪能いただくことを目指して実施内容を選び、同窓の皆様にご参加を呼びかけました。お陰様で当初の予定を若干超える140余名の皆様にご参加いただきました。誠に有難く感謝の念に堪えません。あらためて御礼申し上げます。

【全国理事会・総会】

全国理事会・全国総会は、平成26年度の事業報告・決算報告と会計監査報告、平成27年度の計画と予算案が審議されました。



【二条城見学会】

例年ですと【記念講演会】が実施されて参りましたが、今回はそれに代えて堀川通りを挟んで総会開催ホテルの真向いにあります世界遺産・二条城をご見学頂きました。『たっぷり京都』の第一弾です。二条城は堀と整った石垣に囲まれた、総面積275,000㎡の建造物です。建物は唐門・二の丸御殿・本丸などがあり、庭園は二の丸庭園・本丸庭園・清流園などがあります。特に案内役は設けずに各自自由にご見学いただきましたが、広すぎて道に迷われた方も発生したと伺いました。二の丸御殿の遠侍・式台・大広間・黒書院・白書院と続くうぐいす張りの廊下で、忍び足で歩いても「目かすがい」と「釘」が擦れ合い発する音を楽しまれた方もいらっしやると思います。足早にはありますが徳川時代から明治維新に至る歴史の舞台をご見学され、歴史の一端を興味深く味わって頂けたものと拝察いたします。



【懇親会】

懇親会は佐藤京滋支部長による歓迎の挨拶から開始しました。次いで本合邦彦同窓会理事長(機43卒)にご挨拶いただきました。続いて鈴木先生(子57卒)より田邊裕治新潟大学工学部長(院機56卒)の挨拶文をお披露目いただいた後、乾杯のご発声で開会となりました。会の進行役は長谷川康文(応50卒)が務めました。



会が始まって暫らくはテーブル毎にご歓談頂きましたが、やがて京都五花街のひとつであります宮川町の芸妓・舞妓の登壇となり、「はんなり」のあらわれでもあります唄と舞をお楽しみ頂きました。「たっぷり京都」の第二弾です。演目は舞妓2名による「わしが在所」芸妓による「岸の柳」、芸妓・舞妓による「祇園小唄」でした。芸妓と舞妓の目線の流し方の違いに舞の力量の差を感じつつも、舞い姿には見惚れていただいたものと思います。



舞の後には、地方である三味線の弾き方に芸妓や舞妓の由来やその相異点（見分け方）等を解説願ひ、花街に係る理解が少し深まり、親近感が増しました。舞台を降りては、妓たちは宴席のテーブルを巡り、“おもてなし”により宴の興を盛り上げて呉れました。間近で語り合い、お酌を受けることにより宴席は和み、最高に盛り上がりました。また、各テーブルにおける互いの情報交換や歓談が賑やかにおこなわれ、会員間の親睦が一举に進みました。



宴の終盤では、来年度の全国総会開催地である千葉支部殿より来年度総会についてPRを行って頂き、来年度の催しへの期待度アップを図りました。次いで、恒例となりました役員の皆様による合唱を舞台上でご披露頂きました。準備した伴奏が1番までしかないのに最後まで歌いきって頂いた「新潟大学学生歌」、伴奏よりも早く先へと進んでしまう「四季の新潟」などと難点もございましたが、それも一興というところだったでしょうか。懇親会の最後に実行委員長の高寺賢吉（電46卒）の発声により、以後の催しに対する期待を込めて一本締めによる中締めを行いました。



【二次会・クラス会】

久しぶりで再会した同窓会員と旧交を暖められる方、新たなる交わりを模索される方、懇親会だけでは呑み足りない猛者などが押し寄せて、宴は催されました。亦、クラスメートと存分に語り合いと願って別の場所で宴を催す方々もいらっしゃいました。予め準備した会場が手狭で人が溢れ出るというトラブルも発生しご迷惑をお掛け致しましたが、ホテル外にも宴席を広げることで、交流を深めていただきました。

【宿泊】

お申込みいただいた宿泊はシングル部屋が断然多かったですのですが、ホテルとして絶対容量が不足したため、ツイン部屋に、更には三人部屋に変更してお泊りいただくことに成り大変ご迷惑をお掛け致しました。主催者として慎んでお詫び申し上げます。

【観光】

大いに盛り上がった総会の翌日 28日（日）には、洛北・大原にある名刹・古刹を訪れました。64名のご参加を得てのバスによる観光旅行です。『たっぷり京都』の第三弾です。京都市内は曇天であったのですが、大原に到着する頃には雨が降り出し、徒歩で坂道を登り名刹に向かう折には雨傘をさしての難行となりました。その雨も短時間で上がり、景色に彩りを添えて呉れることになったのは誠に幸いな巡りあわせでした。

三千院:伝教大師最澄上人が開基の天台宗門跡寺院です。緑の苔むす庭園や往生極楽院が有名ですが、丁度満開だった紫陽花の花や苔が折からの雨に濡れて目にとっても色鮮やかに映ったのは予期せぬ喜びでした。往生極楽院で阿弥陀三尊像を拝しながら、僧侶の講話で極楽往生に係る手解きを受けました。皆さんの安心立命がちよっぴり進んだ？



寂光院:聖徳太子創建になる天台宗の尼寺です。雨もほぼ上がって、少し蒸し暑さも感じながら田舎道を歩いて参拝しました。第二代の庵主阿波内侍や第三代の庵主建礼門院徳子が閑居され守った本堂は火災で消失しましたが、再建されています。本尊六万体地藏菩薩立像を拝しながら、尼から院のいわれに関するお話を伺いました。誠に狭い院の境内ですが、幽邃で、「平家物語」当時の余韻を感じました。



貴船の川床:一旦は京都市街まで戻るという大変な遠回りをして貴船に到着しました。先の雨のため実施が危ぶまれた川床での昼食ですが、無事に催行することができました。清流の上に設けられた床はとても涼しく、床下を流れる水の音も微かに耳に届きました。葎簀から偶に落下する雨の名残の水滴に首をすくめつついただいた川床料理とビールの味は、夏の京を満喫させてくれる味わいでした。



貴船神社:昼食の後は、水の供給を司る神様をお祀りした貴船神社参拝・貴船川沿いの散策を楽しんでいただきました。貴船の本宮では茅の輪くぐりをなされた方も多かったものと、図らぬ巡りあわせに感謝・感謝でした。



今回の観光は見学時間が全体的に不足気味でした。じっくりと見学したい対象が多かったが故に発生した時間不足と思われる、計画した側としては胸をなでおろしております。ベテランのバスガイドさんの弁ではないですが、今回の観光はほんの下見、本番は皆さまご自身が計画され、京都をゆっくりスケジュールで訪れていただくことをお待ち申し上げます。

【終りに】

今回の全国総会は恒例で実施されて参りました【記念講演会】をなくし、『たっぷり京都』をキャッチフレーズに掲げて、京都で楽しんでいただくことに注力しました。全国から多くの同窓の皆様がご参加いただき元気に楽しんでいただけたのも、悠久会本部をはじめ各支部の皆様のご協力の賜物であると心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

尚、本誌で紹介しきれなかった写真は、「悠久会ホームページ」に掲載の予定です。

<http://www.yukyukai.gr.jp/> またはWEBにて「悠久会」検索をクリックしてください。

「トップ→悠久会の広場→悠久会だより→活動報告→全国総会報告」

また、今回の催しの状況を収めたDVDを悠久会本部に保管頂いております。特にご希望の方は本部に借用をお申し出ください。

本全国総会の準備、報告は高寺氏（E46）のお力によるものです。本紙面でお礼を申し上げます。